

平成29年10月28日(土)実施



宇部市新庁舎建設 ワークショップニュース 報告会



発行：都市整備部まちなか再生推進課本庁舎建設係
〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号 電話0836-34-8200／ファックス0836-22-6050

10月28日(土)の午後、宇部市総合福祉会館にて、「宇部市新庁舎建設ワークショップ報告会」を開催しました。これまでの4回のワークショップ意見を反映したワークショップ最終案を説明し、全体で確認しました。今回は50名の市民にご参加いただきました。

まず最初に前回のおさらいをした後、設計者より第9回～第12回のワークショップで出された意見と経緯について説明しました(p2～4)。次にグループごとに模型を見ながら案を確認し、設計者から補足説明をしてもらいました。その後、質疑応答を行いました(p5～6)。最後に感想カードを記入していただき(p7～8)、報告会を終了しました。

報告会には、これまで参加していただいた方に加えて学生など、初めて参加された方も多数いらっしゃいました。過去4回の成果がワークショップ最終案にどのように活かされてきたのかの説明を聞き、多くの方から「すっきりしたよい計画案がまとまった」との感想をいただきました。今後は、市民活動支援機能とまちづくりの拠点機能を十分に使いこなしていくために、市民協働を基本とした運営体制をどのように作り上げていくかをテーマとした話し合いの場が必要であることを確認し、報告会のまとめとしました。報告会と合わせて5回の意見交換の場に熱心に参加いただき、本当にありがとうございました。新庁舎がオープンするまで、引き続きよろしくお願い致します。

ワークショップの流れ

- 第9回
日時：平成29年5月20日(土)14:00～
場所：ハミングロード新天町アーケード内
- 第10回
日時：平成29年7月15日(土)13:30～
場所：宇部市総合福祉会館
- 第11回
日時：平成29年8月5日(土)13:30～
場所：ときわ湖水ホール
- 第12回
日時：平成29年9月23日(土)13:30～
場所：宇部市立図書館
- 報告会
日時：平成29年10月28日(土)13:30～
場所：宇部市総合福祉会館

報告会プログラム

1. はじめに
2. 宇部らしい市民活動支援機能と広場などまちづくり拠点機能について、ワークショップ最終案を報告
3. ワークショップ最終案の模型をグループ毎に見ながら期待と質問に対して補足説明
4. ワークショップ最終案に対する質疑応答
5. まとめ

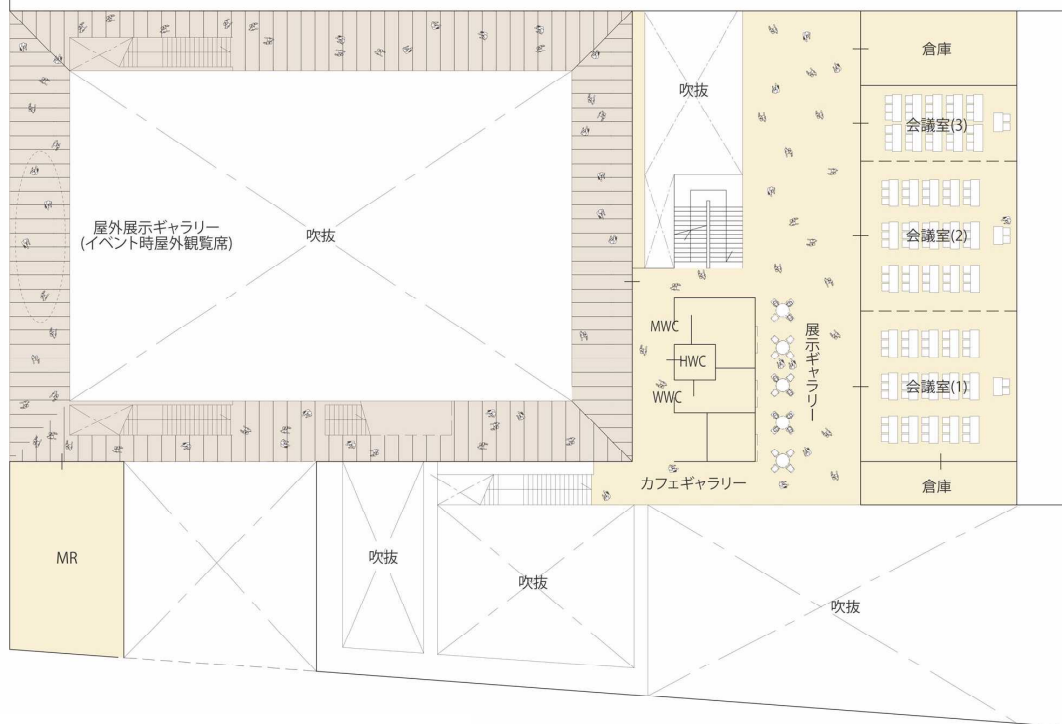


ワークショップ最終案を説明しました

これまでのワークショップをもとに作成した、宇部らしい市民活動支援機能と
まちづくり拠点機能の最終案を、検討の経過を含めて説明しました

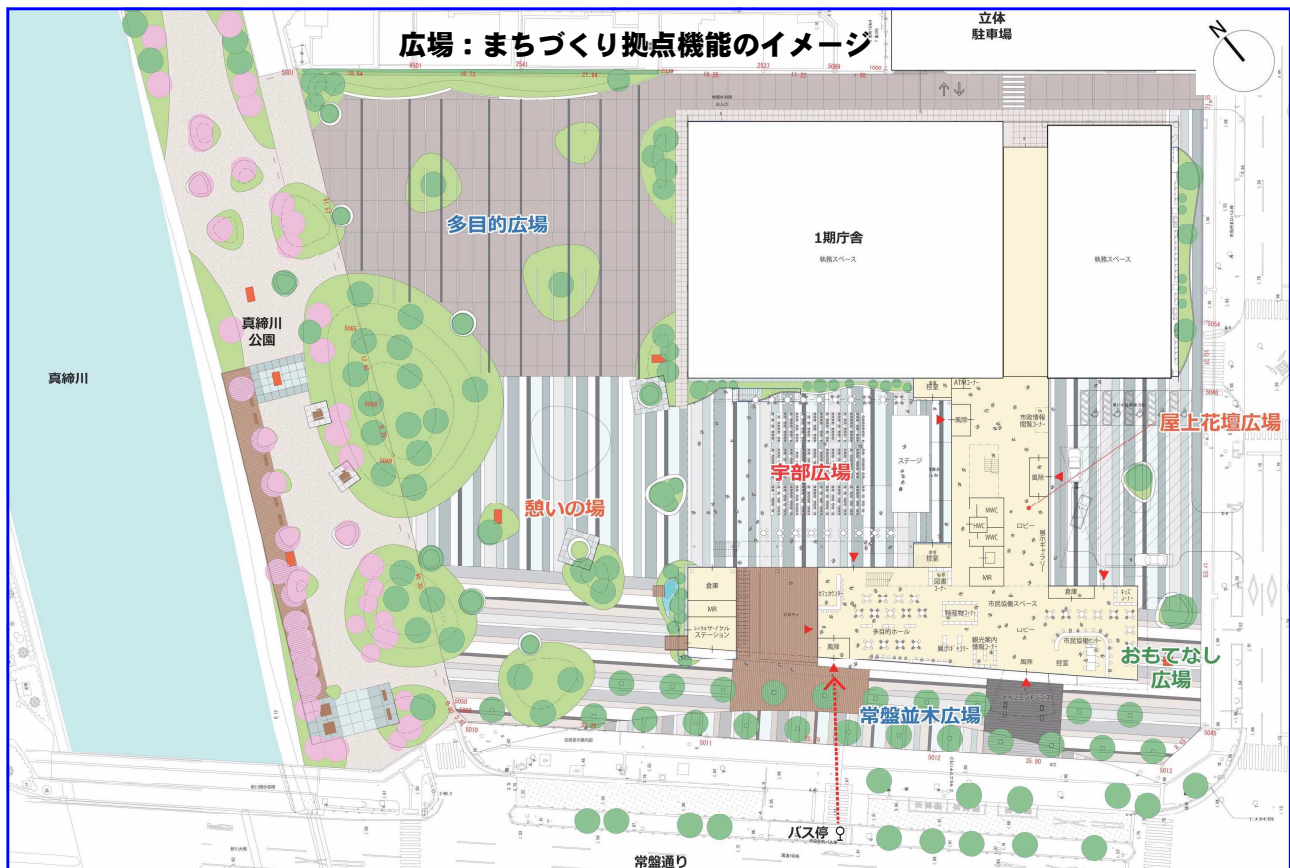
ワークショップ最終案

市民活動スペースの2階平面図イメージ



市民活動スペースの1階平面図イメージ





● 整理した7つのポイント

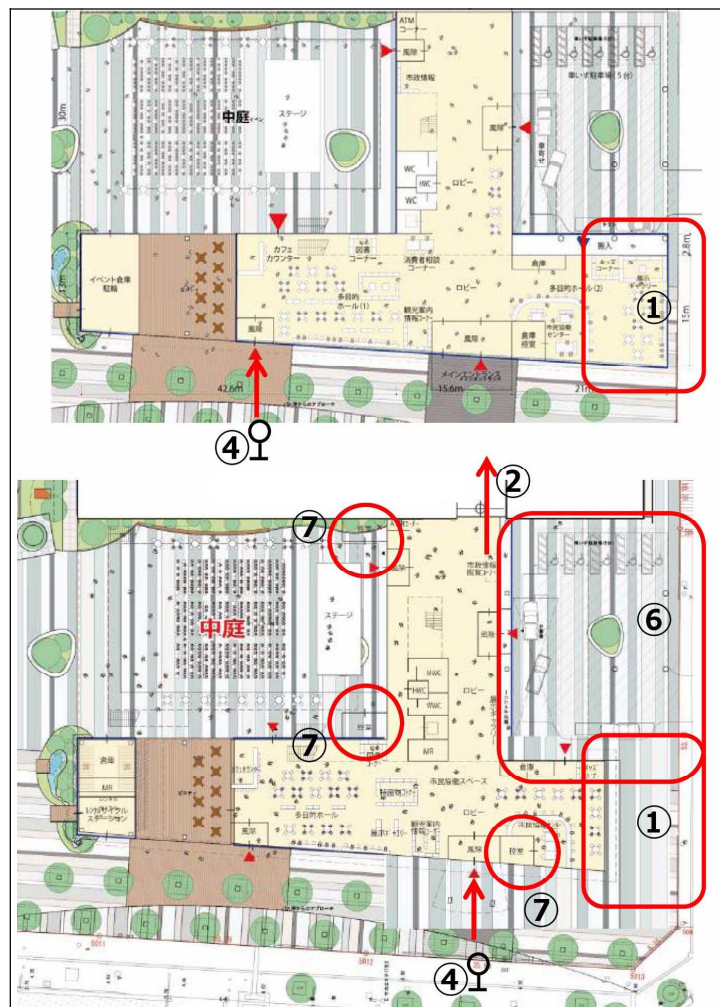
■ 第12回ワークショップの指摘

- ① 交差点に面して庁舎の顔となる広場（オープンスペース）があったほうがよい
- ② イベント時のトイレ利用に配慮
- ③ 駐車台数を増やした方がよい
- ④ バス停から入口まで庇を設置してほしい
- ⑤ 2Fの吹き抜け部分にラボ（実験室）を設置してほしい
- ⑥ 小型バスが停車できるロータリー
- ⑦ イベント招待者の控室が必要



■ 変更最終案

- ① 交差点に面してオープンスペースを確保
- ② 2期棟に加え、1期庁舎棟のトイレも使用できるよう検討。真綿川公園、ヒストリア宇部のトイレも利用可能
- ③ 駐車台数については交通量調査により設定。コストをかけない計画を目指す。多目的広場もイベント未利用時は駐車利用を検討
- ④ バス停を移動できないか、バス会社と協議中
- ⑤ 実験台の整備は難しいが給水、コンセント等の設備を検討
- ⑥ 小型バスの回転半径を考慮してロータリーを検討
- ⑦ イベント控室の設置を検討



◆ イベント時のトイレの利用について

- 1期庁舎棟のトイレが使用できるよう セキュリティエリアを設定
- 庁舎1,2階トイレ、真綿川公園トイレも利用可



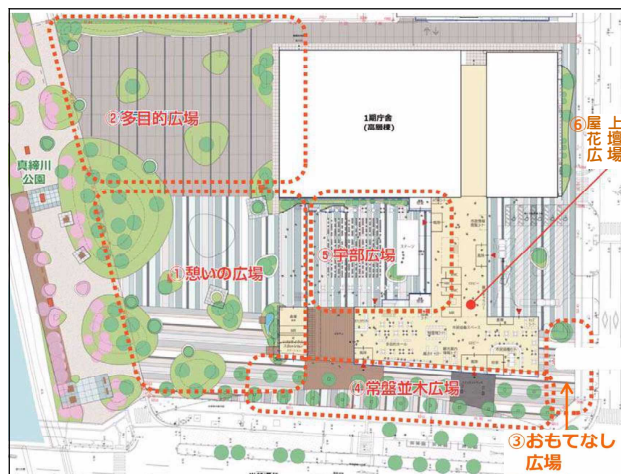
◆ 駐車台数について

- 駐車台数については交通量調査により設定。
 - ・ 繁忙期の来庁者駐車台数最大予測：248台 (3/15確定申告時)
 - ・ 窓口部門来庁者数の繁忙期に対する通常期の割合：71.6%
 - ・ 通常期の来庁者駐車台数予測：248台×0.71=178台
 - ・ 市役所公用車43台、税務署公用車9台、合計約230台を駐車場として計画予定
- 必要以上に駐車台数を確保するのではなく、臨時の場合は周辺駐車場との連携によりコストをかけない計画を目指す。



◆ 広場について

- 6つの広場からなるセンターコア広場が美しい町と市民をつなぎ、宇部100年のみらいを創る



1. 常盤通りと真綿川をつなぐ「憩いの広場」

シンボルロードである「常盤通り：緑の軸」と、市内を貫流する「真綿川：水の軸」のクロスポイントという立地を活かし、豊かな緑や親水空間のある広場とし、市民の憩いの場とする。

2. 真綿川公園と庁舎をつなぐ「多目的広場」

宇部市のセンターコアを実現するため、庁舎と真綿川公園をつなぐ「多目的広場」を計画する。

真綿川公園の緑や周辺の構成樹種と調和のとれた緑に囲まれた広場とするとともに、イベント利用や駐車場など、多目的に利用できる広場とする。

3. まちと庁舎をつなぐ「おもてなし広場」

市役所前交差点に面する南東の角は、庁舎とまちをつなぐ場とし、シンボルツリーを配置した「おもてなし広場」を設ける。

まちから庁舎へのアプローチ空間となる広場。

4. 常盤通りと庁舎をつなぐ「常盤並木広場」

常盤通りに面する庁舎の前面に、常盤通りの緑やまちの賑わいを取り込む「常盤並木広場」を設ける。

ベンチなどを並木沿いに設け、常盤通りの緑の軸を強調するとともに、市民がくつろげる場とする。

5. 市民と市民をつなぐ「宇部広場」

庁舎と市民協働スペースの間には、宇部市そして市庁舎の中心となる「宇部広場」を設ける。

窓口手続きの合間や、市民協働スペースでの活動の合間にくつろげる空間とするとともに、宇部まつりなどのイベント時に中心となる場とする。

6. 市民と美しいまちをつなぐ「屋上花壇広場」

「花であふれるまちづくり」を推進する宇部市ならではの場として、市民協働スペース屋上に「花壇広場」を設ける。

春と秋に開催される花壇コンクールなどのイベント利用が可能な場とする。



ワークショップ最終案に対する期待や質問について 全体場で意見交換しました

参加者1：市民活動スペースには一日何百人ぐらい集まる予定なのか。

宇部市：厳密に何人とは計算していない。運営をどうしていくかを考えて、実際に活動していただける団体等を発掘しながら、何人規模のイベントが出来るのか検討していきたい。ホールでは200名程度のイベントができるし、個別に小さい使い方もできる。

参加者1：一日何人ぐらい来るかの想定をしなければ、駐車場の数は決められない。私は駐車場が少ないと思う。

宇部市：駐車場の数は交通量調査から今のピーク時の駐車台数を出し、新庁舎の面積比で計算して248台という数字を出した。

参加者1：多目的広場も普段から駐車場として使えるようにしないとだめだと思う。それから2期庁舎の市民活動スペースは誰が運営の責任を持つのか。いろんな団体があるが、きちんと市民が集まれるようにいろんなことを考えてやっていただきたい。ソフト面を今からきちんとしておかないと、つくったは良いが閑古鳥が鳴くということになる。それが一番心配。

宇部市：今後はどう使っていくかワークショップまたは意見交換会等を開催しながら、どういう方々に運営を担っていただくかも含め、検討していこうと思う。

* * *

参加者2：視覚障がい者である。多目的トイレの数はどれぐらいあるのか。バス停、広場、市民活動スペース、庁舎からもアクセスしやすい位置にあるのか。また身障者用の駐車場のスペースは車イス利用も可能で、利用しやすい便利な位置にあるのか。点字ブロックを含め、バリアフリーなレイアウトであるのか。触地図のように触って分かるような地図なり案内が庁舎全体を含めて必要だと思う。

宇部市：多目的トイレは各階に1箇所ずつ、なるべくエレベーターの近くに設置する予定である。身障者用の駐車場スペースは1期庁舎と2期庁舎の中間の車寄せに5台ほど設ける予定である。今後、点字ブロック、音声、触地図など、身障者の方が利用しやすいユニバーサルデザインについての意見交換会を設けていきたいと考えている。また工事をやるときには実物大の模型をつくって、

体験していただいて、更にご意見をいただくような機会も設けていきたい。

設計者 飛永氏：音声誘導に関して、どのようなものにしたら良いかをヒアリングをさせていただいて、情報が伝わることを確認しながら設計を進めていきたい。

参加者2：今、私は画面を読んでもくれる音声式のパソコンを使って情報を聞いたりしているが、図や絵はさっぱり分からない。触ったら分かるような、線が浮き出るようなコピー装置もあると思う。そのような図等の資料を付けていただければ助かる。

* * *

参加者3：基本設計のワークショップは今日が初めてだが、基本構想のワークショップに出ていた。その時は全体の話をしたが、今日は市民活動スペースのことだけで、1期庁舎についての話が全然なかった。執務庁舎との関連も考えながら設計していかないといけないという気がする。例えば執務庁舎の中にある会議室を市民が使えるようにしていただきたいという意見が基本構想時のワークショップではかなり出ていた。機能的に同じようなものはここでつくることではない。土日は庁舎を閉鎖するので出来ないかもしれないが、平日は市民も使えるように考えると、設計のコンセプトも変わってくるのではないかな。

宇部市：当然、執務スペースと市民活動スペースの双方を考えながら設計していかないといけない。1期庁舎の執務スペースの方は、あまり会議室を設けておらず、市民活動支援スペース2階の会議室を市民の方々と共用で使えればということで描いている。基本的には1期庁舎については執務メインで考え、休日はシャッターを下ろして一般の方が入れないようにする。1～2階は駐車場から市民活動スペースに行けるようにするが、その他についてはセキュリティをしっかりとっていく。税務署が2階に入る予定なので、セキュリティをきっちりしていくよう考えている。

ワークショップ支援グループ 内田氏：市民ワークショップのとりまとめをした責任上、流れを簡単に説明したい。最初のワークショップでは、市役所に対して市民がどう思っているかという意見をいろいろ出した。庁舎に関しては無駄のない、使いやすいようにということが市民の意見として

まとめられた。従来庁舎はオフィスビルの機能だけだが今後、協働のまちづくりを進めていく上で、市民が主に利用するところがどうあったら良いかを考えましょうということが、そのときの大きな宿題だった。今回、基本設計の設計者が決まった時に、執務スペース等がある1期庁舎については市役所内に検討組織を設け、無駄のない使いやすい庁舎の協議が別途進んでいる。市民協働の、これまでなかった機能を考えて、宇部市らしい庁舎をどう考えるかを取り出して協議しようというのがこのワークショップであり、良い方向に来ていると思っている。これからどう運営していくかということを一一人、人の顔も見据えながら考えて行く段階に来ている。

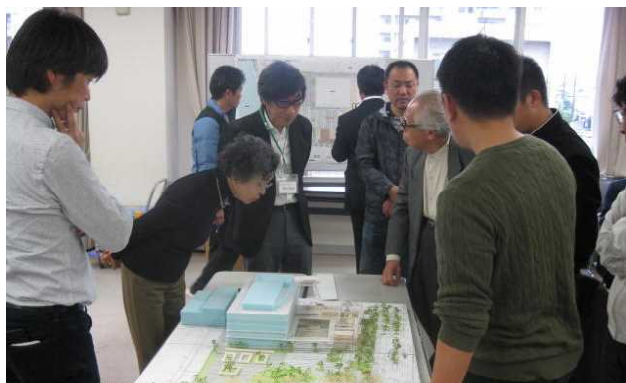
宇部市：これから基本設計の素案をまとめ、12月にはパブリックコメント、市民説明会をする予定である。同時に12月の『広報うべ』で、基本設計（素案）の概要を、皆様のご家庭に届けられるように準備している。

飛永氏：1期庁舎内は北側と南側にオフィスゾーンが続き、真ん中に階段やエレベーター、トイレ、会議室がまとまっているというのが大きな構成である。出来るだけコンパクトにということで設計が進んでいる。

* * *

参加者4：1期庁舎と2期庁舎の間に宇部広場があるが、中庭を半分ぐらいとって、玄関ホールから見た時に緑が見えるように、少しゆとりがあった方が良くはないか。そうしないと、宇部広場で大きな音が出るイベントをした時に、執務室で仕事にならないと思う。

飛永氏：宇部広場の使い方の一つのアイデアとしてお聞きした。それを緑でやるのか他の方法でやるのかを検討しながら、ここの空間をつくってきたい。中庭に屋根を架けるという議論もあるので、緑については植えられる樹種に限られる。また宇部まつりでこれぐらいのスペースが必要となるので、今後考えさせてほしい。



<ポストイットで出された意見>

- バリアだらけ。今回は視覚障がい者の方がいらっしゃるので…。
- 郵便局は入りますか？
- 2F展示ギャラリーにベンチを!!
- 宇部広場に庭を造って欲しい。半分でも。
- 市政情報だけではなく国、県の情報も。
- A E D使用法等の講習会をやって下さい。
- 市民活動棟を短時間利用する人の為の駐車場は、棟の近くにあった方が良い。
- イベントスペースでのイベント時には、ライブカメラを入れてストリーミングや大型モニターでの出力をしたら良い。
- ガラス窓は耐震上の構造を考慮して下さい。
- 防災拠点の役割という面で、各広場の給排水についてはどうなっているか。
- 就活学生、Uターン者、創業者などに対するインキュベーション施設としてのソフト面はどうなっているか（それに特化したラボが必要）。

今後の進め方

●講演会『災害に強い防災拠点としての市庁舎を考える』の開催

- ・ 11月20日(月)に文化会館2階の研修ホールにて13時30分から開催。
- ・ 東京理科大学の高橋先生の基調講演と、山口大学の内田先生をコーディネーターとしたパネルディスカッションを実施。

●30年度中に基本設計をまとめて公表

- ・ 12月の『広報うべ』にて、新庁舎建設に関する情報を各戸配付。
- ・ 12月～1月にかけて、パブリックコメントと市民説明会を実施。1期庁舎も含めた素案を提示し、意見を募集。
- ・ 年明けから基本設計と平行して実施設計を開始。スムーズな着工を目指す。

●市民協働による新庁舎建設

- ・ 進捗状況に合わせた情報提供
⇒ホームページ・広報等
- ・ 市民活動支援スペースと広場の運営方法を考える意見交換会等の実施
⇒実際に携わっていただける方々を対象
- ・ ユニバーサルデザインによる庁舎
⇒障がい者の方を始め、実際に利用する方へのヒアリング

感想カード

最後に、今日参加した感想や今後の進め方など、自由に感想カードにお書きいただきました

プランについて

- 多目的ホール（要・不要の議論を徹底的にやる必要あり!!）のスペースを削減すれば（各コーナーの配置に工夫が要るが）常盤通りから宇部広場と1期庁舎が見通せるようになり、レイアウト的にはスッキリする。
- 今回初めて参加致しました。宇部市民が活用できる多目的ホールの話を聞いて、どの様な形になるのかが良く見えてきません。無駄なものが多いのではないかと思います。植木などの管理が大変なのではないでしょうか。
- 市民協働スペースの上（2F）に食堂を設置（既存の役所食堂）。緊急時避難場所および2F会議室を休憩所に転用。行政棟と分けることにより、市民が利用しやすいのでは。
- 男性用と女性用のトイレの大きさを再検討した方がいいと思います。イベント利用時に女性は公衆トイレを使いたがらないので。宇部広場（中庭）の風通しのシミュレーションがあると良い（屋根の可否、可変性）。中間期はいいとして夏場、冬場のイベント利用のため。イベント主催者を事前に応募してもらい、ニーズを把握してみてはいかがでしょうか？やったはいいけど人が来ないのもどうかと…。あまり人に頼るのもだめでしょうし。
- 活動spaceについては良い案と存じます。庁舎等のPC（市民の声）によく耳を傾けて下さい。セキュリティで市民に開放しないとのことであったが、解決策は種々あると思います。無駄なスペース（室）を造ることは極力避ける様にしてください。
- 税務署が市役所に入るとの事ですが、一緒に郵便局も入れて欲しいです。市民側からすれば一カ所で仕事が済みますから。食堂は三階にお願いします。屋上花壇広場。
- ATMや宅配便の受取等のサービスの場もあると、それだけでも市役所を利用する人も多いと思います（休日の集客になるかも）。
- 今回初めて参加させてもらいましたが、自分が特に思ったのが障がい者にも、子どもにも優しい設計をしてほしいと思いました。また、もう少し空間の使い方を工夫してほしいと思った。
- 先程、意見は云いましたが再度、庁舎広場の半分を庭とする。おもてなし広場をもう少し広くしては如何。屋上レストランを設けては！
- 着々と計画が進んでいて、良い感じになってきたなと思いました。多くの様々な人達がいるので意見をまとめるのが大変そうだなと思いました。左の方のピロティから入る入口と、正面から入る入口がありますが、ピロティからの方だけでいいのでは？と思いました。
- 宇部広場は今までにない施設です。稼働率を考えてみられましたか。
- 彫刻の再配置、新配置も含めて、アートフルな広場になるといいです。真締川をウォーターフロントとして、緑を少なく、芝生が多く、空の広い開放的な広場になりますように。野外彫刻美術館の中心としての役割を担ってほしいです。

今後の進め方

- 今後の進め方について。今回のワークショップの趣旨は理解できたが、全体的な或いは将来的な方向づけについて、今一つ判らない。イベント内容など、基本的な集客対策も含めた基本設計案を期待している。
- まつり、イベントなど”非日常時”を中心に考えすぎではないか？と感じる。日常時、平常時の利用をもっと綿密に想定した方がよいのでは？2期棟の目的、運営が明確ではないまま設計が進んでいるのも不安に思える。（お疲れさまでした。引き続きよろしくお願いします）
- 運営のソフトにかかっている。3,000㎡、広くないか？
- ワークショップ報告会に参加して、最終的に無駄の少ない庁舎、共存出来る市民との交流を考えて進めて頂きたいと思っています。
- 今回の報告会で、新庁舎の構造が、市民が気軽に立ち寄れるようなものになっていて、とても興味がわきました。これからも、よりよいものにするために、微力ながら協力できればと思っています。
- なかなかいい感じになってきました。イベントスペースや宇部広場のプロデューサーを必ずつけてください。

♡ 多くの市民を取り込みたい

- 今回のワークショップを聞いて、とてもいい案が出ていたと思いました。ですが宇部広場のような場所をとっても使われるのかどうかというのがすごく心配です。そしてもう1つ思うのが、宇部市民が（特に若い人）宇部についてあまり知らないということもあると思うので、宇部市民に宇部の情報（習い事や施設など）を伝えることも重要だと思います。
- 2年前にワークショップに2回参加させて頂きました。その時に検討した内容も取り込まれてたりして、とても素適な建物になってると感じました。多目的ホールに関しては、使用される人の集客が心配ですし、使用中はカフェが無いということでは中途半端な物になってしまうような気がします。例えば「お母さんと一緒」などのTVイベント等あると、かなりの人が集まりますヨ。
- 子育て世代（20～30代）の方がワークショップに参加することは難しいと思うが、「住みやすさ（点数UP）」「次世代を担う（世代を大切に）」を宇部のキーワードとするとしたなら、20～30代の意見を大切にすることが必要。ハード面が大まか決まった今、ソフト面や運用を具体化する時、ぜひ若い方の意見を集めて下さい。
- おもてなし広場近くに、交差点から不特定な人々を集めるカフェ等があったらいい。常盤並木広場から真綿川公園に向けて、市民が歩きたくなるような空間に。「多目的ホール」は聞こえはいいが、ソフトが重要。しっかり検討していただきたい。
- 今回のワークショップの最終案を聞いて、かなり駐車場があって入れる人数の幅が増えていたので良かったかなと思いました。宇部広場でするイベントでは、芸人さんや歌手の人を呼んだりして、客引きをすればいいかなと思いました。窓ガラスを聞いたので、台風がきた場合にはそれに耐えることが出来るのかな？と思いました。最適な避難場所はあるのか？



♡ 期待している

- 市民にやさしい市役所が出来そうで期待しています。幾回も参加させていただき感謝しています。年を1つ取るたびに、人に対する思いやりが1つ増えた様に思います。その思いやりを新市役所に届けたいと思います。
- 初めて参加したのですが、とても良い市庁舎が構成されてきていると思いました。
- 多くの市民の意見が取り入れられた記念的な市役所の建物として、完成を楽しみにしております。
- 提案をお聞きしても完成イメージが不明ですが、大いに期待したいと思います。防犯、防音、防塵等考慮を宜しくお願いします。
- ワークショップに参加したのは2回ぐらいだけど、今回の報告会で今までのことが少しでも実ってきたのかなと思います。ワークショップで話し合ったことかなるべく実現できることを楽しみにしています。
- 新庁舎のイメージが出来上がってきたように思います。期待しています。
- 市民協働センターってどんな人が使うの？キッズコーナーと関係があるの？宇部広場や駐車場の使い方は◎。楽しそう。多世代に愛着をもってもらえる市庁舎になってほしい。

♡ その他

- 壁に貼ってあったパネルを市役所ホールで展示して下さい。
- 今回のワークショップで市民の方々の意見を聞いて、今後の大学でのシミュレーションや検討に対して作業としてではなく、人々の生活に深く関わることでありと認識を持って、大切に行っていくことができれば良いと考えました。
- 今度、新庁舎が建った時には、現在使っているデバイスをそのまま再利用せずに、新たなデバイスを入れた方がよいと思う（クラウドサービスを利用し、デスクトップ→タブレット）。レンタサイクルステーションのレンタルバイクの返却所は増えていくのか？イベントなどをする時には、ライブカメラを入れて、大型モニターなどで出力すると思う。

